

ミズーリ号艦上での降伏文書調印写真
昭和20年(1945)9月2日

重光葵と 杵築の人々

戦後80周年特別企画
郷土の偉人
しげみつ まもる



9月19日金
11月4日火



重光公使歓迎会記念写真(亀井莊撮影)
昭和8年(1933)1月28日

きつき城下町資料館

休館日／毎週水曜日(祝日の場合は翌平日が休館)
観覧料／〈個人〉一般 300円 小・中学生 150円

開館時間／10:00～17:00
〈団体〉一般 240円 小・中学生 120円

主催／杵築市教育委員会、文化・スポーツ振興課

お問合せ／きつき城下町資料館 TEL.0978-62-5750

戦後80周年特別企画 郷土の偉人

重光葵と杵築の人々

平成5年の開館以降、きつき城下町資料館では、杵築の歴史文化を語るうえで欠かすことのできない貴重な文化財資料(歴史資料、美術工芸、古文書、民俗資料など)を中心に市内外の多くの皆様から資料提供のご協力をいただけてきました。

令和7年度の本企画展で取り上げる郷土の偉人・重光葵(1887-1957)は、戦前・戦後の昭和期に外交官や外務大臣として活躍し、昭和20年(1945)9月2日には日本の首席全権代表として、米艦ミズーリ号上で降伏文書への調印や国際連合加盟への尽力など日本の政治史に大きな足跡を残したことで知られています。

本企画展では、近年新たに当館に寄贈された重光葵が揮毫した書や手紙を初公開するほか、杵築に帰郷した際に市内の学校に贈った直筆の書を中心に杵築の人々との交流秘話を残された遺墨などを通じて紹介します。



「大分合同新聞切り抜き(重光葵追悼の報道記事)」
昭和32年(1957)



「杵築中学校卒第五進学者写真」 明治30年代後半頃

「志四海」昭和32年(1957)



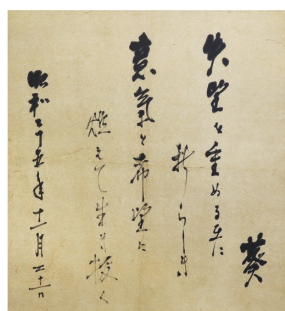
「絵葉書(ワシントン)」
昭和30年(1955)



「野菊図(色紙)」 昭和時代
重光葵・河村李軒 合作



「英国氣不磨」 昭和22年(1947)



「失望を重める…」 昭和25年(1950)

重光葵が幼少期を過ごした屋敷

重光家

父・直恵(なおまさ)の号であった「無迹(むせき)」にちなんで名付けられた屋敷には、杵築重光家や葵に関する資料が展示されているほか葵が幼少期を過ごした勉強部屋も公開されています。



- 住 所 大分県杵築市大字本庄893-1
- T E L 0978-62-5556
- 営業時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休業日 年末年始
- 料 金 個人: 一般150円 小・中学生80円
団体(30人以上): 一般120円 小・中学生60円
- 駐車場 7台

